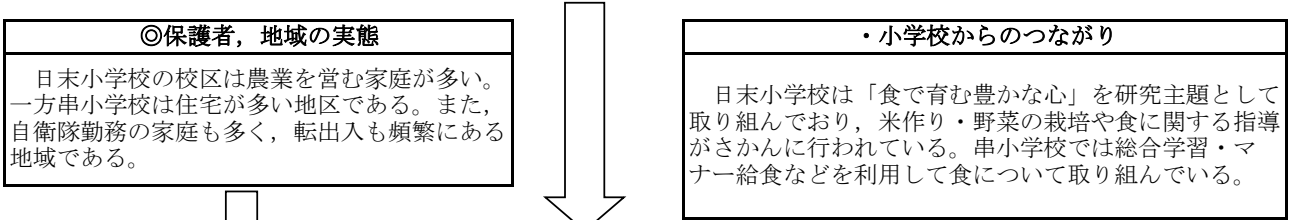
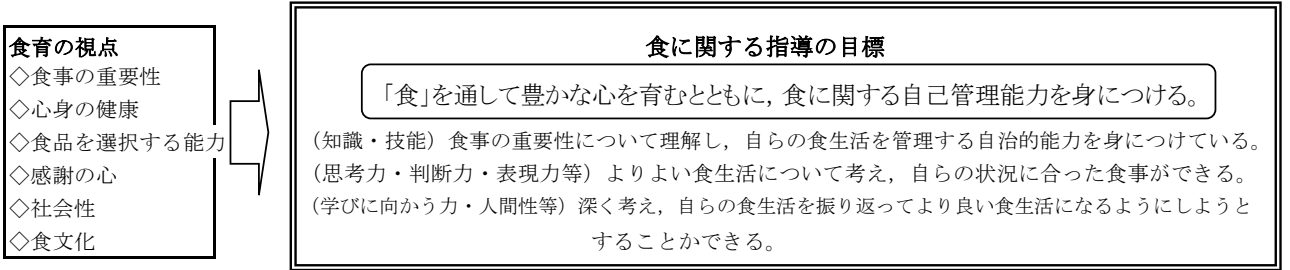
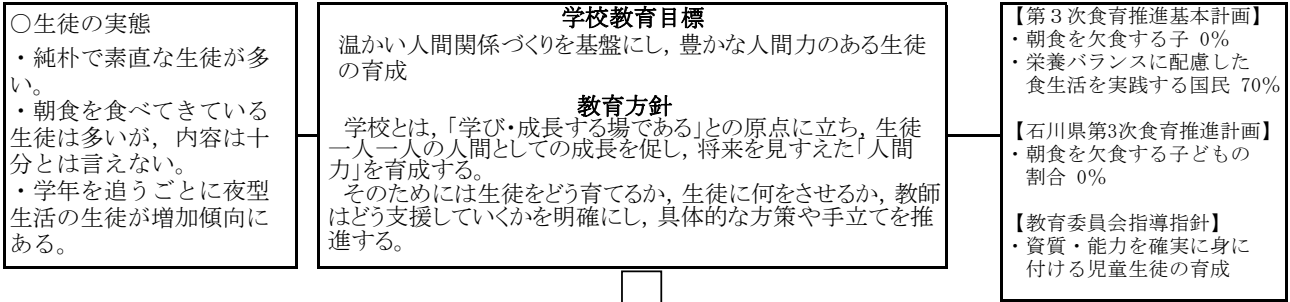


給食指導(食育)

(1) 令和6年度 食に関する指導全体計画①



各学年の発達段階に応じた食に関する指導の目標

1年	<ul style="list-style-type: none"> ○成長期である中学生の時期、特にカルシウムの摂取の重要性を学び、身につける。 ○中学時代の食習慣が生涯の食生活に影響することを理解し、望ましい食習慣を身につける。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ○試合前の食事について学習し、新人戦に向けて体調を維持する。 ○職場体験学習を通し、地域・地元の生産者や作物の恵みに感謝する心を養う。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○規則正しい食生活を送るために、日常の食事を通して自己管理能力を身につける。 ○栄養のバランスを考え、受験に向けて健康を維持する。

食育推進組織 (生徒指導部)

委員長：生徒指導主事 (副委員長：保健主事)

委員：栄養職員、養護教諭等、その他生徒指導部に所属する教職員

※必要に応じて、保護者代表、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の参加

食に関する指導

- ・各教科・領域における指導：
 - 関連する教科等において、食に関する指導の視点を位置付けて指導する。
 - (国語・社会・理科・英語・技術家庭・保健体育・道徳・特別活動・総合的な学習の時間)
- ・給食の時間における指導：
 - 献立を通しての学習(行事食・地場産物の活用等)、食育の日の一斉指導、学校放送(献立メモ)、セレクト給食での指導、準備や片付けまでの指導
- ・個別的な相談指導：
 - 食物アレルギーを持つ生徒の保護者への面談

家庭・地域との連携

- ・毎月の給食だよりの発行、行事等に合わせた食育だよりの発行
- ・学校給食試食会、学校保健委員会、PTA活動

食育推進の評価

- ・活動指標：給食の時間以外での食育指導の回数を増やす。
- ・評価指標：健康に生活するためには食事が大切であると考えている生徒の割合